

**研究タイトル: 汎用スキルを核とした総合カリキュラムのデザインと専門科目連携
実際のコミュニケーションの場面を再現する教育モデルの構築**



氏名:	若生 深雪/WAKO Miyuki	E-mail:	m-wako@sendai-nct.ac.jp
職名:	准教授	学位:	修士(英語学)
所属学会・協会:	全国教育学会, 東北英語教育学会, グローバル人材教育学会 国際理解教育学会, 留学生教育学会, 日本シティズンシップ教育学会		
研究分野:	文学、言語学		
キーワード:	外国語教育, グローバル・シティズンシップ教育, 異文化間教育, 英語教育		
技術相談 提供可能技術:	オンライン協働国際学習; Collaborative Online International Learning (COIL)		

名取
言語学

研究内容:

<研究概要>

英語授業においてオンライン国際 PBL を実施し、言語能力を基盤として異文化間での協働的な課題解決を経験させる。この過程で、1) 英語による異文化間の対話を通じて、公平性、適応力、コミュニケーション能力などの「異文化間能力: Intercultural Competence (IC) (Deardorff, 2006) の涵養を促し、2) 異文化間の状況を比較対象として学習者が活用し、課題や自己・他者を深く理解するために熟慮する自律的な「批判的思考: Critical Thinking (CT) (Paul & Elder, 1990) の形成を支援する。この二つの汎用スキルが、どのように他教科の学びにおいて学習転移 (Transfer of Learning: 習得した技能を別の課題や文脈に適用すること) するのか、その仕組みを解明すること。研究の理論的基盤は、Kolb (1984) の経験学習理論と Bransford & Schwartz (1999) の転移理論に依拠する。理論的・経験的に学んだことは持続的に活用可能な汎用スキルとなり、創造的思考を生むという前提に基づいている。

<発表>

- ・若生深雪「中学生の世界を広げる COIL 型教育の展望 —GOMI on ERATH のプロジェクトラー—
ジェイアーン第2回国際協働学習シンポジウム 2024年6月9日 JICA 地球ひろば
- ・若生深雪「中学3年間の英語の授業を通しての成長 —シティズンシップに着目して—
全国英語教育学会第48回香川研究大会 2023年8月20日香川大学
- ・若生深雪 Exploring Japanese adolescents' awareness of intercultural citizenship in studying SDGs
CULTNET Annual Meeting イギリスダラム大学開催 2023年4月19日オンライン参加

<学術論文>

- ・若生深雪「中学生のオンライン異文化間交流からの教育的効果 —クリティカルシンキングに着目して—
『グローバル人材育成教育研究』(2024) 第12号(1) 2-14
- ・若生深雪「中学生の異文化間教育の現状と今後の展望—クリティカルな視点に着目して—
『東北大学大学院教育学研究科研究年報』(2024) 第72号(2) 139-158
- ・若生深雪「我が国におけるグローバル・シティズンシップ教育 —その現状と今後の展望—
『東北大学大学院教育学研究科研究年報』(2024) 第72号(1) 123-144

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	